

第51期モットー

「 営業力強化！」  
— 全員営業、皆でフォロー！ —

「幸せを願って」

NO.289

H30. 8. 3(金)  
(株) ユ キ  
ダスキン新居浜支店  
社長 小野 正師

「ありがとう、50周年！ Ⅷ」

合掌 西日本大豪雨災害では、大きな被害が出ました。心より、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

ダスキン関係者やお客様にも、たくさんの方々が被災されておられます。この度、ダスキン訪販グループ被災者への義援金口座が開設されましたので、社内働きさん・ハーティさんへご案内を申し上げます。

期間は、8月1日(水)から31日(金)の一ヶ月とします。会社で取りまとめ、一括送金しますので、恐れ入りますがご協力をお願いします。本来は、強制すべきことではありませんが、ダスキンファミリーの仲間への義援金ですので、可能であれば1,000円からの募金をお願い頂ければ幸いに存じます。もちろん、個人の自主裁量ですので、お任せいたしますが。

私は、この4月から新居浜市社会福祉協議会の会長をさせて頂いておりますが、驚いた事が数点ありました。一つは、豪雨災害後すぐに南予の社会福祉協議会が中心となって災害ボランティア活動拠点が創設されました。新居浜市社協でも、必要な支援物資をすぐに送り、合わせて2台ある福祉バスを土・日・祝日に、市内から災害ボランティアを募り毎回40名以上を派遣しています。派遣というよりも、自主的なボランティアの皆さんを送り出すバックアップをさせて頂いております。

さらに、感動したのは大生院小学校の児童さんが募金を持って来るというので、20(金)に社協会長室で待っておりました。終業式の後、児童会代表の6年生6名と引率の先生(4人の子供たちがお世話になっていた秦竜悟先生でビックリ)がやって来ました。話を伺うと、何と子供たちが自主的に相談し合って、自分たちにできる何かをしようと話し合った結果、全校生徒に呼びかけ賛同を得、保護者にも協力を募ったそうです。私は、嬉しくて嬉しくて、一人ひとりと握手をし、皆の話を伺いました。(ひよっとしたら、私が興奮して一人しゃべっていたかも…笑)子供たちの純粋な思いと行動に只々感謝脱帽です。

大生院小学校は、260名余りの小規模校です。金額は、内緒ですよ。66千円余りもありました。自分たちの小遣いを集めた、小さな金貨が光輝いて見えました。



さて、いよいよ9月7日(金)には、50周年記念式典と社長交代式が行われます。只今、レギュラーを中心とした実行委員会が動いています。実行委員会テーマは、「完璧」です。50年に一度の大イベントだと、(毎年の期首全体会とは違うと)気合を入れています。実行委員長は、小林大二さんです。胃をキリキリさせながら、通常の仕事+大変な重圧です。男は(女性も)大きな役をこなしながら成長します。

「福引」の景品も、通常予算の2~3倍。もちろん、全員に何か当たりますし、ご来賓(7名)にも特別賞をお願いしています。もちろん、新会長・新社長・専務・室長他の賞も出ますよ。「福引」だけでも参加した甲斐がありますし(?)、お楽しみタイムでは横浜からプロの「シャボン玉ショー」に間違いなくビックリ・ワクワクされますよ。

でも、一番大事なのは、全員で50年を振り返り、感謝と感動を共有し、次の50年に向けて夢と希望を新社長と共に未来へとつなぐ事なのです。

お陰様で、7月20日にホームサービスの顧客件数が純増プラスに転化しました。なかよし活動隊を中心に、ハーティさん達の協力も得、サンプリング活動が積極的に進んでいます。猛暑の中でも工夫しながら、前準備をきちんとして頑張ってくれています。7・8・9月は、現お客様への50周年感謝の無料サンプルを使用頂いています。4サイクル末では、新規上乗せ軒数が505軒、中四国で第一位と快進撃中です。活動することは、逃げたくなることを振り切る勇気も要りますし、苦手なことにチャレンジする強さを鼓舞する必要があります。どう考えるか、どうやってみるか、力強い第一歩を今踏み出す時です。50周年の正念場です。

ありがとうございました。 合掌